

## < 館長報告 >

館長 土井 承夫 (どいよしお)

落葉のじゅうたんを踏んで歩く頃となり、今年も文化勲章のニュースを聞く季節となりました。皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。今年もあと2か月ですね。

福庭自治公民館新築の財源の根幹をなす「コミュニティ助成事業補助金申請書」は9月中旬に倉吉市役所に提出しましたが、それを受けて市役所側からの現地視察(現福庭公民館の視察)が10月9日に行われました。本件にかかわる市役所の部長、課長、担当者や建設課長、生涯学習担当課長など10名近い方々が2回にわけて視察されました。我々も本気ですが、受けとめて頂く倉吉市の方もそれ以上に前向きで本当に有難い事だと感謝申し上げます。・・来年3月の合格発表「桜満開」を確信いたしました。

### < 福庭自治公民館新築特別寄附金(自主的な寄附)の集計状況 >

住民の皆様からの上記の自主的な寄附金の集計状況をこの後もこの館長報告でお伝えしていきます。ご寄附は新公民館が完成する来年2020年12月31日まで受け付けます。受け付け窓口は館長の私、土井承夫です。(26-0770、携帯080-4261-1979)お電話を下されば、ご持参いただかなくとも私が戴きに参ります。

\* 令和元年(2019年)10月31日(木)現在の集計結果(総計)は次の通りです。

- (1) 寄付頂いた世帯数： 135世帯 (全体の約49.3%)
- (2) 寄附金の合計： 415万円

(3) 個々の寄附金額の概要：最高額：30万円(1名)、  
25万円(2名：1名は福庭、もう1名は福庭以外の方です)10万円(13名)  
5万円(10名)、3万円(18名)、2万円(11名)、1万円(78名)他

- (4) 今回は寄附を見送られた世帯数： 139世帯

## <館長の行動日誌> (10月分)

- 10月1日(火) 午前中は湯梨浜町の宮脇正道 町長と町長室で面談させて頂いた。  
福庭自治公民館新築計画の進捗状況等を直接ご報告した。  
夜は18時から鳥取市民会館で行われた「森昌子 引退コンサート」を  
家内と鑑賞した。私は「花の中三トリオ」の時代からの森さんのファン  
で自前のバンドをバックに熱唱する彼女の歌声に感極まってしまった。
- 10月3日(木) 倉吉市社会福祉協議会福祉センターにて「あったかハート助成金受賞  
公民館館長が集う会」に参加。他の4公民館は西倉吉・小鴨・灘手・  
高城方面だが、福庭公民館は今回初めて上井地区からの受賞となった。  
(限度額の5万円を既に受給した)
- 10月5日(土) 19時より福庭公民館にて定例役員会を開催。内容は報告済。
- 10月7日(月) 19時より上井公民館にて「あげい祭り」の交通安全委員会に副会長と  
して参加。祭り当日の各駐車場における車の誘導担当者等を決めた。
- 10月8日(火) 上井公民館にて「あげい祭り」の実行委員会と月例の「館長会」に  
出席した。
- 10月9日(水) 1 ページ冒頭で記述した「コミュニティ助成事業補助金申請」に  
関わる倉吉市役所の部長・課長・主任・担当者他の皆様の公民館現地  
視察が実施された。
- 10月11日(金) 倉吉交流プラザにて举行された第66回倉吉市戦没者慰霊祭に遺族  
として出席した。私の祖父、土井義春は昭和12年から始まった  
支那事変(シナジヘン)に参戦し翌年31歳で戦死した。「事変」とは  
宣戦布告をしないで行う戦闘の事。宣戦布告をすれば「戦争」と  
呼ばれる。日米開戦となった昭和16年に中国は宣戦布告し「日中戦争」  
と名前を変え太平洋戦争(第二次世界大戦)終結の昭和20年まで  
激戦は続いた。
- 10月12日(土) 波波伎神社にて行われた秋季例大祭前夜祭に公民館長として参拝した。
- 10月13日(日) 波波伎神社にて10時から行われた秋季例大祭に参列。公民館を  
代表して本殿に参拝した。午後予定されていた御幸(みゆき)行事  
(御神輿・おみこし)は前日の台風19号の影響で地面がぬかるみ  
危険なため中止となった。
- 10月14日(月) 倉吉未来中心で行われた「広上淳一指揮、京都市交響楽団 倉吉  
スペシャル演奏会～未来への道程～」を鑑賞した。フランスの世界的  
オーケストラの1つ「リオン国立歌劇場管弦楽団」で約30年ピオラ  
奏者を勤め、定年退職で倉吉に戻って来られた高校時代の同級生で

親友の高見長政 君と二人で演奏を聴いた。演奏後、軽くビールで一杯やったが「ヴァイオリンコンチェルトの冒頭部分のヴァイオリンの弓を上上げる“アップバウ”の箇所が自分の思いとは少し違う」とか「指揮者はオーケストラ団員からの沢山のクレームや要望を受け留める役回りでありその度量がある人ほど団員との音楽作りが上手くいく。その意味でも広上さんはいい指揮者だ」と・・・世界で活躍してきた一流プロ音楽家の今まで聞いた事のないような評論に目を丸くするばかりだった。

**10月15日（火）** 恒例の福庭老人会・福寿クラブの秋の奉仕活動に参加。公民館の草取りや室内の清掃をみんなで行った。その後、質素に懇親慰労会を公民館で行い盛り上がった。

**10月18日（金）** 第60回倉吉市社会福祉大会（倉吉未来中心大ホール）を聴講した。その中で、倉吉市社会福祉協議会長表彰の部があり、福庭の関係者として次のお二人が表彰を受けられた。

＜社会福祉活動奉仕功労者・団体（13名、2団体）＞

**村本 美和子さん**（上井地区給食ボランティア・福庭6班）

・・・村本さんは元公民館長の村本健一さんの奥様で、この日13名2団体を代表して壇上で表彰状を受け取られた。白のスーツで礼儀正しく表彰を受けられるお姿を拝見し福庭公民館長としても誇らしく感じました。おめでとうございます。

＜社会福祉施設職員功労者（31名）＞

**吉岡 麻弓さん**（倉吉市立上井保育園〔敬仁会〕園長）・・・福庭の住人ではいらっしゃいませんが、福庭にある保育園の園長として日頃より福庭住民やその子供たちがお世話になっている先生です。おめでとうございます。

**10月20日（日）** 倉吉未来中心小ホールで行われた邦楽演奏会「打吹三曲邦楽会」を鑑賞した。これは現在私が属している混声合唱団「みお」の団員のなかに「阪昌寿（さかまさじゅ）」の名取（なとり）名を冠する程のある程度年配のベテラン女性がいらしてお誘いを頂いたもの。たまにはお琴（箏）＜そう＞や三味線（三絃・さんげん）や尺八の響き音色を聴くのも乙なもの。演目の中には知人も何人かいて特にクラシックの名曲を邦楽にアレンジした演奏は興味を惹いた。

**10月21日（月）** 上井公民館で上井地区老人クラブ協議会主催の「ミニ運動会」が開催された。天候に恵まれ外の芝生の上での運動会は遠い幼い日の情景と重なり、年配の皆様の柔らかい人柄に触れながら心温まるひと時を過ごした。

10月22日(火) 倉吉市老人クラブ連合会主催のペタンク大会が上灘公民館の広場で開催された。福庭・福寿クラブから土井勉さん(福寿クラブ会長・15班)、戸野武治さん(14班)、朝倉京子さん(15班)の3名が福庭チームとして参加された。何と決勝まで進み強豪の明倫チームを僅差で撃破して優勝に輝いた。おめでとうございます!

10月25日(金) 河北小学校の音楽会「きらりと光る 河北の子」～みんなの思い 音楽にのせて伝えよう♪～が同小学校体育館で開催された。やはり学年が一つずつ上がる毎に演奏のレベルは向上して行く。6年生のビゼー作曲「アルルの女」からファランドールは私も52年前にこの小学校でアコーディオンを弾かせて貰った曲である。特にフィナーレの速い部分はアコーディオンの指使いの見せ場だった。今回もみんなよく頑張ったと思う。然し、圧巻は何と言っても最後の全校生徒300人による大合唱「打吹天女ものがたり」だ。講堂のあちこちからバラバラに出てきて最後に指揮台を取り巻いて歌う様は何か「メッカの巡礼」のような雰囲気もあったが次々と交代する指揮者の最後は中田朱美 校長先生だった。それは現役教員生活最後の音楽会で有終の美を飾る「渾身(こんしん)のタクト」だった。中田先生、お疲れさまでした。

10月27日(日) 上井公民館広場で「あげい祭り」が開催された。私は交通安全部副部長としてJA河北支所駐車場の車の誘導にあたった。他の駐車場と無線で連絡をとりながら行うのだが実際やってみると満車になった時に直ぐに他の駐車場の空車台数を察知して来た車をうまく導けるかがポイントだと思った。午後は芝生の広場で演芸等を楽しんだが、最後の福引でなんと一等賞の「米(10kg)」が当たるという幸運にも巡り合い「終わり良ければ全て良し」の秋の一日だった。 以上

## ～ 館長のちょっと一服コーナー ～

### ～ ゴルフとグラウンドゴルフ…どう違う? ～

<レッスンプロ「イーエン・ダルトン (Mr.Eaen Dalton) との思い出>

私は現在、上井地区老人会員が主体の「河北グラウンドゴルフ同好会」(福井吉宏 会長<7班>)に属して週3回は自宅前にある河北中央公園でグラウンドゴルフを皆様と楽しんでいます。このグラウンドゴルフは今から37年前の昭和57年に鳥取県東伯郡泊村(現・湯梨浜町泊)の教育委員会が生涯スポーツ活動推進事業の一つとして考案したものです。その理由は当時の泊村の人口3,600人の内の何と22%の790人が60歳を超えるとという実情から何か

高齢者向けの良いスポーツがないかと考えていたからです。そうしたら、たまたまある大学生がグラウンドに描いた白線の輪を狙ってゴルフクラブでボールを打っているのを見かけたのです。これがグラウンドゴルフ考案のきっかけとなりました。・・・ホントかいなあ～

ですから、ゴルフではカップ（穴）に入る事をカップインと言いますが、グラウンドゴルフでは穴ではなくてカゴの様なポスト（ホールポスト）に入ることを公式用語で「トマリ」と言います。勿論、発祥の地、泊村を記念しての呼び名です。その後、マスメディアの全国報道を通して県外の教育委員会や老人会などから問い合わせが殺到し、あの日本を代表する三段跳びのアスリート南部忠平さんを筆頭に16名からなる日本グラウンドゴルフ協会が東京の岸記念体育会館で設立されて現在の隆盛に至っています。

さて、それでは本家のゴルフの話に移ります。歌の文句ではありませんが、「20、30、40代と私のゴルフ人生暗かった・・・」というのが正直なところでありませぬ。20代後半で始めたゴルフは特に30代の名古屋勤務時代に長きに亘って成績低迷をつづけ会社のコンペ（競技大会）ではいつもブービー（下から2番目の成績）かメーカー（最下位）の定位置を守り、会社の先輩からは「朝から晩までいつもゴルフの事を頭で考えている位でなければ上達しない」等と無責任な言葉を浴びせられたり所詮無理な「岡本綾子の様なスウィングを目指せ」とか、どこの会社にもいる「教え魔（おしえま）」たちの肝心な事は隠しておいて自分の上達理論だけを偉そうに説教される沢山の場面に遭遇した結果、ほぼ軽い「ゴルフノイローゼ」状態に陥ってしまいました。春や秋の会社のコンペの約2週間前から気分は暗く落ち込み食事もあり喉を通らなくなって「この世からゴルフがなくなればどんなに幸せか・・・」等と手酌の酒で自分を慰めていました。

この私のゴルフ人生を変えたのが家族でシンガポールへ転勤後3年目の39歳の時に現地のゴルフ練習場（所謂「打ちっぱなし」）で出会った一人の若いニュージーランド人でした。名前を「イーエン・ダルトン」と言います。彼は当時30歳のレッスンプロでシンガポール内の練習場を回って私の様な下手な日本人駐在員等を相手に週一回か二回のレッスン契約（1時間あたり50シンガポールドル、日本円で1時間あたり約4千円）を貰って生計を立てていました。（それだけでは食えないので、プロの大会のキャディーなどもしていました。）時々彼の若い奥さんがベビーカーで赤ちゃんを連れてきていましたので彼としてはその家族を養うための必死の仕事だったのです。余談ですが白人の

欧米人の男性は見た目では年齢が良く分りません。  
若そうでしたが頭は剥げ上がっていましたので話を聴くまでは年齢不明でした。  
白人の女性の方はだいたい見た目の年齢が本当のそれでした。

イーエンのレッスン（外国では「レッスン」ではなく「ブラックティス」です）は単純でした。リラックスして頭と体を固定し「上げた（テイクバックした）クラブをそのまま振り下ろすのみ」の繰り返しです・・英語だと「ヘッド&ボディ マスト ビー ステイブル アンド ジャスト クラブヘッド アップ アンド ダウン」となります。日中仕事でシンガポールなまりの英語ばかりを聞いているのでたまに彼の流暢（りゅうちょう）なイギリス英語を 聴くとちょっとばかりウキウキした気分になったものでした。そしてクラブフェイスが真に当たって素晴らしいボールが飛ぶと日本では「ナイス・ショット！」と叫びますが、イーエンはこう言いました・・・「ホールド・オン！」と・・これを日本語に訳すと「その調子を保って！」となります・・・ 4年前に私がレポートしたダイアナロスの名曲 ～「イフ ウィ ホールド・オン トゥゲザー」の精神と同じ意味です。彼に 就いて毎週水曜日、会社から帰った後、車で10分のこの練習場へ欠かすことなく通い半年が経過した後、私のゴルフスコアーは大目標の100を切りベストスコアーが94の所まで来ました。ゴルフのスコアーには段階があり、前述した悪夢の名古屋時代は「アン・カウンタブル～計算不能の世界（120~130 以上）」⇒「煩惱を断ち切る除夜の鐘（じょやのかね）の世界108前後」⇒「100を切る～パートナーに迷惑をかけないでプレーできる人並みの世界」です。イーエンがシンガポールで私に最適だと選んで買ってくれた（勿論代金は私が払いました）ゴルフクラブとゴルフバッグを最近倉庫から取り出しました。このクラブを持って彼とシンガポールのナイターコースを回った夜の事が思い出されました・・サーチライトに輝くグリーンに、打った白球がオンした時の光景が目に浮かんできました。

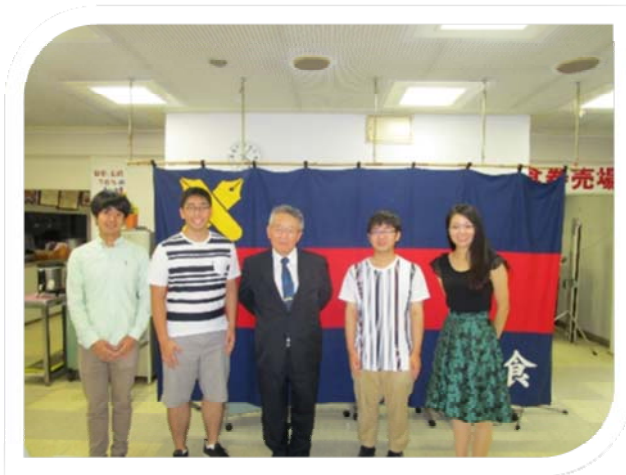
以上

<付録>

2019年9月27日（金）慶大混声合唱団楽友会現役諸君との交流

～慶大三田キャンパス学生食堂「山食」にて撮影～

前回9月分「行動日誌」の最後で、母校大学合唱団現役学生との交流の話をしましたが、その時に彼らと撮った記念写真を下に掲載します。



<2019年9月27日、三田キャンパス学生食堂にて～  
慶大混声合唱団楽友会現役諸君と撮影、左から柳生頼人 君  
（学生指揮者、4年、政治）須藤雅大 君（部長、4年、法律）  
筆者（79年卒、政治）森永優暉 君（次期部長、3年、法律）  
釜井美奈江さん（副部長、4年、商）>



<10日前の9月17日夜8時からNHKで  
生放送された「うたコン」の中村雅俊  
「ふれあい」のバックコーラスをする  
同合唱団>～NHKホールにて～

**～4年生の皆さんは残り少ない学生生活を有意義に過ごして頂きたいと思います～**

2019年11月2日 作成